

## 事業&活動報告

### 準備が着々進行中！ 千葉市民活動フェスタ2020 ワクワクつながるオンライン



#### ○新しいフェスタにチャレンジ

今年の「千葉市民活動フェスタ」はオンライン開催。前例もなく手探りの中、実行委員会もZoomを活用し何度も会議を重ねています。特設ウェブサイトの公開は11月8日からですが、プログラムはもう始動しています。

#### ○無事終了！団体紹介動画撮影会

今年ならではの企画。10月18日に開催、4団体が参加しました。市民活動支援センターの会議室をスタジオに撮影を実施。どの団体も準備万端で、トラブルなく無事終了しました。登録団体パラレルサウンズの支援により、YouTubeにアップするところまで完了しています。



#### ○「公開収録ステージ」と「専門業者による現地取材」

ステージパフォーマンスを行う団体の動画収録を、11月8日に千葉県教育会館大ホールにて実施。団体の活動場所まで取材に行く現地取材は、3つの団体の紹介動画を制作。

#### ○「団体紹介ページ」と「資料の配架」

フェスタ2020特設ウェブサイトからは、各団体のホームページや動画コンテンツへのリンクも可能。発表内容が従来よりも幅広く、立体的になりそうです。

きぼーるアトリウムでは11月14・15日の両日、参加団体の資料を配架。ウェブ時代でも、端末なしに手に取れる紙の資料は必要ですね。

#### ○インターネット放送局

11月15日きぼーるからライブ配信！お楽しみに。

## 「オンライン 市民活動交流サロン」開催報告

9月19日(土)に、「センター長対談～今だからこそ、市民活動！」と題し、初の試みとなる、Facebookライブによるサロンを行いました。対談相手は、飯村隆志さん〔NPO法人健康サポーターJAPAN〕、田中照美さん〔TSUGAnoわこども食堂〕、工藤和博さん〔介護予防の会「輝」〕の3名。コメント機能を使った質疑応答や、センターからのお知らせも盛り込み、予定の1時間半があったという間に過ぎました。視聴者から良好な感想を多数いただき、終了後に公開した動画の再生回数も500回を超えました。担当は次回に向けて意欲を燃やしております。動画は、Facebookページから視聴可能です。まだの方は是非ご覧ください！



## Q&A 「プロジェクターを借りることはできますか？」

当センターの会議室または談話室をご利用の団体に、プロジェクターを無料で貸し出ししています。HDMIケーブルおよびD-Sub15ピンケーブルが付属しています。お部屋をご予約の際に、口頭でお申し出ください。台数は1台しかございませんので、先着順となります。また、施設外に持ち出すことはできません。スクリーンは、談話室には吊り下げ式のものも備え付けられています。自立式のスクリーンもご用意していますが、会議室は壁が白いので、壁に投影しても問題はないでしょう。なお、パソコンの貸し出しは原則として行っていませんので、ご注意ください。

### ミニコラム

## ちばさぽの風 vol.40

個人的な仕事や活動も含めて、オンライン方式の会議や講座、ワークショップなど、さまざまな経験をする機会に恵まれています。どちらかという自分は「アナログ人間」なので（ICTの知識に乏しいといった意味）、あまり積極的にオンラインを導入したり、参加したりしてこなかったのですが、こういったご時世でもあり、主催者側・参加者側双方の立場で、オンラインの企画に携わることが増えてきました。そうした経験を通じて感じたことなどを、思いつくままに綴ってみました。

#### ○運営面の功罪

運営側の立場では、オンラインにすることで準備の負担が増え、進行の最中もパソコン操作や参加者の管理などにも気を遣わなければならないのが、大きなデメリットだと感じます。もちろん慣れてくれば違ってくるでしょうが、参加者側の環境の問題でオンライン参加ができないといったケースもあり、実際、そういったトラブルのために打合せが不成立になってしまったこともありました。

一方で参加者側からすれば、会場まで移動をしなくて済むので、参加にあたっての時間の制約が軽減されますし、障害のある人など、今まで会場には行けなかった人の参加の機会が広がることは、大きな利点と言えるでしょう。

## オンライン〇〇をやってみて

#### ○創造の難しさと共有の容易さ

「オンラインでは発言のタイミングが難しい」「参加者の反応がつかみにくい」などと感じたことがある人は多いのではないのでしょうか。それだけに、対面の会議よりもファシリテーター役の重要性が高いと言えます。また一対一のやりとりになりがちなので、何かを創造することはオンラインでは難しさがあると思います。

ただ、対面方式にはない「効能」を実感したケースもあります。あるオンライン講座では、受講者が自発的に学びの成果や感想を、「チャット」の機能を用いて発信していました。それに対して他の受講者も、休憩時間に反応を返していました。また当センター主催のオンラインサロンでは、出演者が紹介した話題に関する詳細な情報（HPアドレス等）を、参加者がコメント欄に投稿してくれました。

#### ○オンライン飲み会は盛り上がるか？

最後に、自分は未経験の「オンライン飲み会」について個人的に一言。きっと初対面の人ばかりが集まっても、盛り上がりませんか。もっとも、真面目な会議でもそれは同じだと思います。まだ何をしても対面の制約は多いですが、オンラインでは替えがきかないことも世の中にはあるだろうと思っています。（は）

